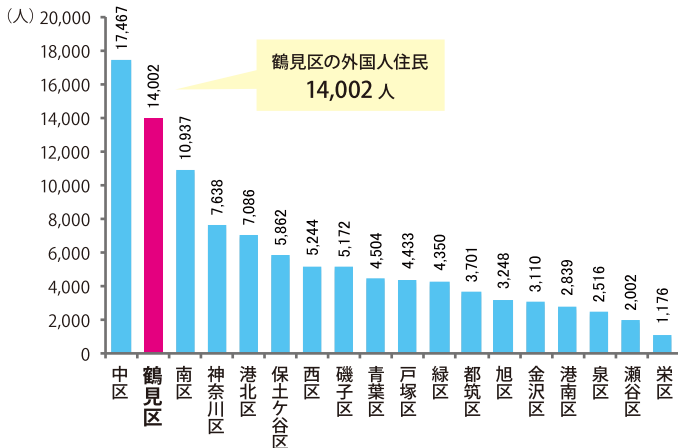


### 3 外国人住民

#### ● 区別外国人住民



資料：住民基本台帳 外国人人口 (令和2年3月31日現在)

令和2年3月31日現在の鶴見区の外国人住民数は14,002人です。(前年より879人増加)これは中区に続いて市内2番目の多さとなっています。国籍別にみると、中国、韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジルの順に多くなっています。横浜市全体と比べると、鶴見区はブラジル国籍の構成比が大きいことがわかります。

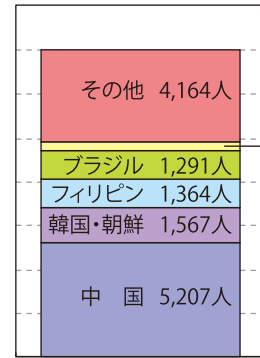
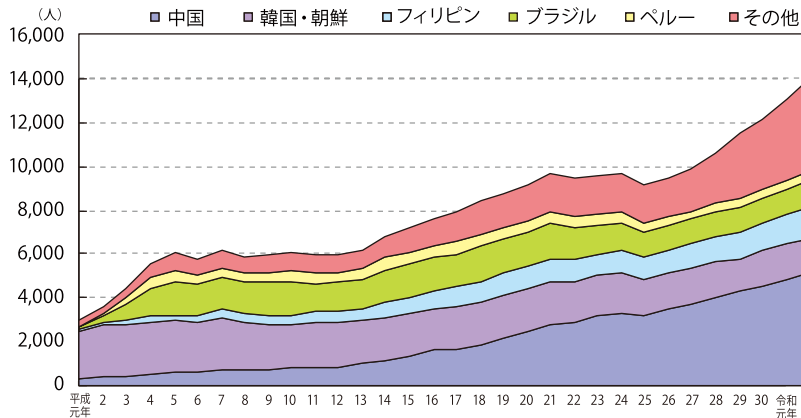
鶴見区は、外国人児童数(※)が496人で、18区で一番多いよ!

※ 市立小学校に通う外国人児童の数  
資料：横浜市教育委員会「市立学校現況」(令和2年5月1日現在)



#### ● 国籍別外国人住民数の推移

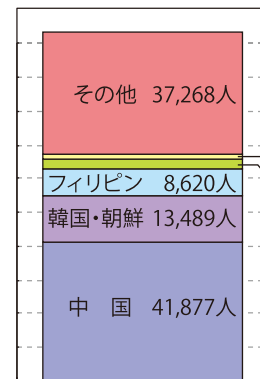
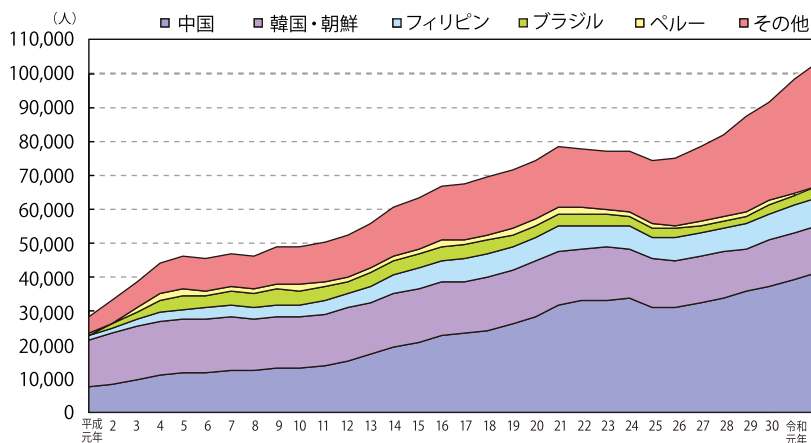
鶴見区



ペルー 409人

令和2年

横浜市



ペルー 1,258人  
ブラジル 2,775人

令和2年

資料：住民基本台帳 外国人人口 (各年3月末現在)

Have a break!

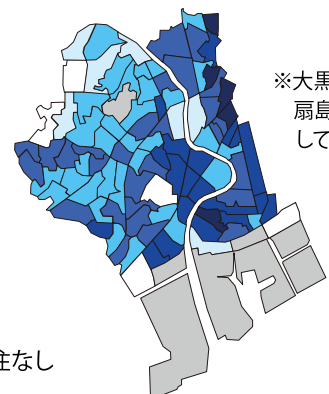
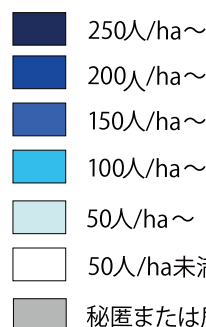


#### 地図で見る鶴見 ～人口密度～

鶴見区内で人口密度の高い町は、尻手一丁目、尻手三丁目、市場上町、本町通、矢向五丁目などです。

また、鶴見駅周辺と、川崎市との市境の人口密度が高い傾向にあります。

資料：住民基本台帳 (令和2年3月31日現在)



※大黒ふ頭・扇島は省略しています。